

令和5年1月30日

東部農林水産振興センター出雲事務所農業部

標 題	斐川町集落営農組合連絡協議会主催の「第2回集落営農次世代意見交換会」が開催される
-----	--

(ダイジェスト)

J Aしまね斐川町集落営農組合連絡協議会は、1月21日(土)、J A斐川地区本部営農総合センターにおいて、「第2回集落営農次世代意見交換会」を開催しました。この意見交換会は「次世代への組織継承」に向け、若手組合員の「仲間づくり」「意欲向上」を図るため昨年度初めて開催しましたが、今年度は「若手が参加しやすくなる組織づくり」をテーマにグループワークを行い、意見を交換しました。

J Aしまね斐川町集落営農組合連絡協議会主催の「第2回集落営農次世代意見交換会」が、1月21日(土)、J A斐川地区本部営農総合センターにおいて開催され、15組合から22名の「若手」の出席がありました。この意見交換会は、「次世代への組織継承」が大きな課題となっていることから、次代を担う後継者が他組織の同世代の仲間と交流し、営農への意欲を高めてもらうために昨年度初めて開催したものです。

2回目の今回は、「若手が参加しやすくなる組織づくり」をテーマに、①組織の活動で困っていること・不安に感じていること、②そのためにサポートしてほしいこと、③今後、組織で取り組んでみたいことについてグループワークを行い、意見を交換しました。

グループワークに先立ち、農業技術センター技術普及部の今井裕作企画幹が「集落営農組織での若手の関わり」について情報提供。現場活動の中で聞いた若手の声や若手の参加を促すための取組事例を紹介されました。その後、4つに分かれたグループワークでは、上記の3点について付箋に書き出し、それぞれの状況や考えを共有しました。最後に、各グループで話し合われた内容を代表者が発表し、意見交換会を終了しました。



【グループワークの様子】

定年後に初めて組合の農作業に関わった参加者は、「仕事の段取りがわからないし、何より顔と名前が一致しない」と不安な様子を話し、10数年関わってきた参加者は、「農繁期には土日がつぶれ家庭が犠牲になっている、これ以上自分らに負担がかかるのは困る」と悩みを打ち明けました。

今後、今回の「意見交換会」で出された不安や悩み、サポートしてほしいことを協議会事務局でとりまとめて各組織の役員の方々と共有し、「若手が参加しやすくなる組織づくり」を一歩ずつ進めていきたいと考えています。